

ハイドロサーム施工仕様書（外壁磁器タイル面）

工程	使用材料	塗布回数	塗布量	備考	
①	劣化・汚染 吸水防止剤	ハイドロサーム	追っ掛け 2回	150cc/m ² (100+50cc)	表面が乾いていることを確認した上で、目地部を中心にたっぷり目に塗布。1回目が含浸するのを確認（3～5分）して、目地部が乾く前に2回目を塗布。 ※1回目が乾いてからの2回目塗布では、ほとんど含浸せず塗布量不足の恐れがありますのでご注意ください。
②	拭き取り	水を固く絞った布	① 施工後（3～5分）、磁器タイル表面に吸い込みきれずに残った余剰のハイドロサームは、水を含ませ固く絞った布で拭き取る。拭き取り布に付いたハイドロサームは頻繁に水で洗い、固く絞ってご使用ください。 ※拭き取りが遅く磁器タイル表面に白く固い結晶体が付着した場合は、磨き粉を湿った布に付け、軽く擦り落としてください。		
③	乾燥養生	雨養生	① 施工後（3～5分）、磁器タイル表面に吸い込みきれずに残った余剰のハイドロサームは、水を含ませ固く絞った布で拭き取る。拭き取り布に付いたハイドロサームは頻繁に水で洗い、固く絞ってご使用ください。 ※拭き取りが遅く磁器タイル表面に白く固い結晶体が付着した場合は、磨き粉を湿った布に付け、軽く擦り落としてください。		
③	乾燥養生	雨養生	ハイドロサームは水分が気化するとともに無機質の結晶体を発現（非水溶性）するもので、夏期8時間・冬期12時間の雨養生をして下さい。		

① 塗布面はあらかじめ洗浄してください。

② 塗布面が乾燥していることを確認の上、ハイドロサームをご使用ください。
躯体内部に水分を含んでいても、表層部分が乾いていれば、塗布が可能です。

③ ヘアークラック以上の漏水原因箇所はあらかじめ補修してください。
ヘアークラックへの塗布は、多めに含浸させて下さい。漏水箇所を止水します。

④ ハイドロサームの塗布は、噴霧器・刷毛・ローラーをご使用下さい。

⑤ ご使用後の用具は水洗いして下さい。

注意事項☆直射日光等で施工面が50℃以上の場合は使用を避け、日陰部からご使用下さい。

(ア) ハイドロサームの結晶はアルミ・ガラスに対し、強固に付着しますので養生して下さい。
誤って付着した場合はすみやかに、水を含んだ布で拭き取ってください。

株式会社 ハイドロ

東京都中央区新川2丁目5番8号
TEL03-3537-1720 FAX03-3551-1515

HYDRO CORPORATION

ハイドロサーム施工仕様書

(コンクリート打放し・モルタル面)

工 程	使用材料	塗布回数	塗布量	備 考
① 劣化・汚染 吸水防止	ハイドロサーム	追掛け 2回	250 cc/m ² (150 cc + 100 cc)	表面が乾いていることを確認した上で、たっぷり目に塗布し含浸させる。一回目が含浸するのを確認(3分～5分)して、塗布面が乾く前に二回目を塗布。 <u>※一回目が乾いてからの二回目塗布では、殆ど含浸せず塗布量不足の恐れがありますので、御注意下さい。</u>
② 乾燥養生	雨養生	ハイドロサームは、水分が気化すると共に無機質の結晶体(非水溶性)を発現するもので、夏期12時間・冬期24時間の雨養生をして下さい。		

躯体強化、劣化・汚染・エフロ防止、止水

外壁、開放廊下、バルコニー、土間、側溝

※ 塗布面は予め洗浄して下さい。

※ 塗布面が乾燥していることを確認の上、ハイドロサームを御使用下さい。

躯体内部に水分を含んでいても、表層部が乾いていれば塗布が可能です。

※ 止水目的で御使用の場合は、ヘアークラック以上の漏水原因箇所は予め補修して下さい。ヘアークラック部への塗布は、多めに含浸させて下さい。

※ ご使用後の用具は水洗いして下さい。

注意事項☆直射日光等で施工面が50℃以上の場合は使用を避け、日陰部からご使用下さい。

(ア) ハイドロサームの結晶はアルミ・ガラスに対し、強固に付着しますので養生して下さい。

誤って付着した場合はすみやかに、水を含んだ布で拭き取ってください。

株式会社 ハイドロ

東京都中央区新川2丁目5番8号

TEL03-3537-1720 FAX03-3551-1515

HYDRO CORPORATION

ハイドロサーム施行仕様書（石材表面・裏面処理）

塗布量の目安（石質・塗布面の加工状態により異なります）

《A》 石 質		《B》 表面加工状態	
① 砂岩・ライムストーン	250 cc～350 cc	① 切り肌（割れ肌）	150 cc～350 cc
② 大理石	150 cc～250 cc	② バーナー仕上げ	100 cc～250 cc
③ 花崗岩（御影石）	100 cc～150 cc	③ 本磨き・水磨き	100 cc～150 cc

工 程	使用材料	塗布回数	塗布量	備 考
① 劣化・汚染 吸水防止	ハイドロサーム	追っかけ 2回塗布	石質により 異なる。 上記表参照	表面が乾いている事を確認した上で、吸い込みが止まるまでたっぷり目に塗布し含浸させる。一回目が含浸するのを確認（3分～5分）して、乾く前に二回目を塗布。 <u>※一回目が乾いてからの二回目塗布では、殆ど含浸せず塗布量不足の恐れがありますので注意して下さい。</u>
② 拭き取り	水を固く絞った布	① 施行後（3分～10分）	石質により（吸水性の低い鏡面仕上げの御影石等）吸い込みきれずに表面に残った余剰のハイドロサームは、水を含ませ強く絞った布で拭き取る。拭き取りに使用した布は、頻繁に水洗いし使用して下さい。 <u>※拭き取りが遅く石材表面に白くハイドロサームの結晶体が付着した場合は、粒子の細かいブラシにて軽く擦り落として下さい。</u>	
③ 乾燥養生	雨養生		ハイドロサームは水分が気化すると共に、無機質の結晶体（非水溶性）を発現するもので、夏期12時間・冬期24時間の雨養生をして下さい。	

※ ハイドロサーム塗布用具は、刷毛・ローラー・噴霧器を使用して下さい。

※ 使用後の器具は水洗いして下さい。

※ 石材の石質・加工方法等で、施行方法が異なりますので、施行前に御相談下さい。

株式会社 ハイドロ

東京都中央区新川2丁目5番8号

TEL03-3537-1720 FAX03-3551-1515

HYDRO CORPORATION

ハイドロサーム施工仕様書

(木材専用 KK シリーズ)

工 程	使用材料	塗布回数	塗布量	備 考
洗 浄	水・薬剤（こびり付いた汚れ・コケ除去） 高圧洗浄機にて汚れやコケを洗い流します。 ※薬剤を使用した場合は、水を多量に使用して薬剤を除去して下さい。 新築の場合は、表面の汚れ（ホコリなど）をウエスにて空拭きして下さい。 薬剤（防腐・防虫目的）など塗ってある場合は、ウエスにて空拭きして下さい。			
乾 燥	濡れていますと、ハイドロサームの効果が望めません。			
① 劣化・汚染 吸水防止	ハイドロサーム KK-100 KK-50 ※使用器具 刷毛・ローラー	追掛け 2回	200 cc/m ² (100 cc + 100 cc)	表面が乾いていることを確認した上で、たっぷり目に塗布し含浸させる。一回目が含浸するのを確認（3分～5分）して、塗布面が乾く前に二回目を塗布。 ※一回目が乾いてからの二回目塗布では、殆ど含浸せず塗布量不足の恐れが有りますので、御注意下さい。
② 乾燥養生	雨養生	ハイドロサームは、水分が気化すると共に無機質の結晶体（非水溶性）を発現するもので、夏期12時間・冬期24時間の雨養生をして下さい。		
確認	水を掛け濡れ色になった場合は、塗布量不足ですので再度塗布して下さい。 ※防腐剤などの塗料を塗布する場合は、ハイドロサーム塗布施工をした後に施工して下さい。			

※ハイドロサーム塗布用具は、刷毛・ローラー・噴霧器を使用して下さい。

※ 使用後の器具は水洗いして下さい。

株式会社 ハイドロ

東京都中央区新川2丁目5番8号

TEL03-3537-1720 FAX03-3551-1515

HYDRO CORPORATION